

10月9日 報恩講のご案内

報恩講は、私達の浄土真宗をお開きになった、親鸞聖人のご命日(旧暦11月28日)を縁として、聖人の御苦勞を偲び、聖人のご恩に報いる報恩の集いです。併せて、皆様のご先祖や故人となられた方々を偲び、感謝する集いでもあります。毎年、法徳寺では、一流の布教使さまを講師に迎え、楽しくて有り難い仏様のお話を聞くことができます。法徳寺にとつても、昔から続いていく最大の行事です。門信徒の方々は、当日は、一戸残らず、皆さんでご参詣くださるようお願いしております。法要の後、新鮮な野菜を使った美味しい精進料理を召し上がっていただき、また、お酒の用意もありますので、車でおいでになるのは、遠慮ください。法徳寺門信徒皆様による報恩講です。一戸3000円を、全門信徒の皆様より出して頂くことになってお

講師紹介

遠山博文 師 寶専寺住職 (伊東市)
大変、素晴らしいご講師です。
お聞き逃がしなく!

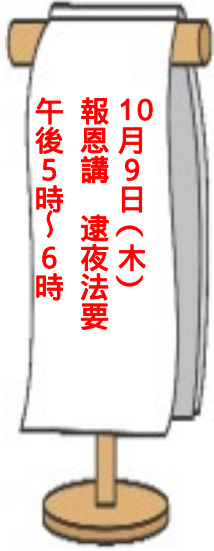


報恩講は、私達の浄土真宗をお開きになった、親鸞聖人のご命日(旧暦11月28日)を縁として、聖人の御苦勞を偲び、聖人のご恩に報いる報恩の集いです。併せて、皆様のご先祖や故人となられた方々を偲び、感謝する集いでもあります。毎年、法徳寺では、一流の布教使さまを講師に迎え、楽しくて有り難い仏様のお話を聞くことができます。法徳寺にとつても、昔から続いていく最大の行事です。門信徒の方々は、当日は、一戸残らず、皆さんでご参詣くださるようお願いしております。法要の後、新鮮な野菜を使った美味しい精進料理を召し上がっていただき、また、お酒の用意もありますので、車でおいでになるのは、遠慮ください。法徳寺門信徒皆様による報恩講です。一戸3000円を、全門信徒の皆様より出して頂くことになってお

受付 10時半より
法要 11時~11時半 読経
法話 11時半~12時半
布教使：遠山博文師(寶専寺住職)
おとき(昼食) 12時半 (精進料理)



法話：伊東英幸(副住職)
軽い夕食をご用意させて頂きます。
報恩講は、二日間行われ、前の晩にお勤めするのを「速夜(たいや)法要」といい、お通夜に当たるものです。



法徳寺だより

第89号 発行
浄土真宗本願寺派
法徳寺
厚木市岡田5-4-12
TEL 046-228-3962
FAX 046-229-6962
住職 伊東英俊
法話 伊東英幸
編集 伊東祐子

お彼岸法要

9月23日(火)

秋分の日

9月23日(火)
法要時間
午前11時~12時
午後1時半~2時半
各回、30分前より受付開始

当山、法徳寺において、お彼岸法要をおつとめ致します。法要内容は、読経、お宅様の読み上げ、法話です。法要中、お宅様の読み上げご希望の方は、同封の「読み上げ用紙」に、ご記入の上、当日、受付で、ご提出下さい。その際、お宅様の、ふりがなを忘れずにお書き下さいますようお願い致します。

「暑さ寒さも彼岸まで。」といわれるように、春のお彼岸と同様に季節の変わり目であり、気候も良い時期です。是非、ご家族そろってお参りにいらしてください。

お彼岸の期間9月20日~26日
尚、ご自宅へのお参りご希望の方は、お早めにお申し込み下さい。
046(228)3962

《法要に持参する物》

- 過去帳・位牌
- 読み上げ用紙
- お念珠
- お経の本(お持ちの方)

築地本願寺団体参拝



今年も、東京の築地本願寺の報恩講へ貸切バスで行きます。

日時 11月13日(木) 朝7時30分 寺出発 時間厳守
(駅には行きません。帰りはOK)

費用 6500円(当日持参)

当日の予定・みどころ

築地本願寺にて報恩講法要参加。おとき(昼食)

築地場外市場にてお買い物

天璋院篤姫さまに、お会いしたい。NHKドラマの「篤姫」は人気絶頂。いざ江戸城へ!

皇居東御苑 大手門(江戸城の正門)~松の廊下跡(吉良上野介に浅野内匠頭が切りつけた)~大奥の跡(三千の美女の館、篤姫はその主であった。)~本丸の跡(ここで将軍や老中が政務を行った。)~天守台(かつて威容を誇った天守閣の跡)~二の丸庭園(運が良ければ、皇宮警察が馬車訓練をしている。)~不浄門(浅野内匠頭も、絵島も、罪人としてここから出された。)~平川門(奥女中の通用門)

注意 酒の用意あり、飲まれる方は**運転厳禁!** 寺に駐車できます。散策は25分程、歩きます。履物注意! 短縮コースもあります。お申し込みは法徳寺まで!

55名の定員になり次第、締め切らせて頂きますので、お早めに!

046-228-3962

法徳寺

合祀墓のご案内

法徳寺には、境内に永代合祀墓がごさいます。納骨を、ご希望の方はお気軽にご相談下さい。寺が責任をもって永代にお護りいたします。

お寺で、お子様の七五三のお祝いをしてしましう。いつも見守って下さる阿弥陀様へ、先立っていかれた方々へ、お子様の成長をご報告する行事です。時間は約30分。費用は五千円です。お寺までお申し込み下さい。

七五三

これからの行事予定

- 9月23日(火) お彼岸法要 2回お勤めします。
 - 10月 2日(木) 念仏奉仕・ニコニコ法話会
午後1時半~3時 (報恩講準備の為、本堂・接待所・境内の清掃等)
 - 10月 9日(木) 報恩講準備・速夜法要
 - 10月10日(金) 報恩講日中法要
 - 11月 4日(火) ニコニコ法話会 午後1時半~3時
 - 11月13日(木) 築地本願寺団体参拝
 - 12月 2日(火) ニコニコ法話会 午後1時半~3時
- 伊勢原別院 立德寺 法話会のご案内(毎月第二日曜日午後3時~)
- 9月14日(日)・10月12日(日) 尚、10月は、報恩講を兼ねます

お盆法要を終えて



今年、法徳寺で咲いた蓮の花

平成二十年八月十五日、十六日、当山法徳寺において新盆、お盆法要が行われました。当日は、各地で記録的な猛暑日でしたが、たくさんのお参りを頂きました。

ここで、当日の、法話の一部をご紹介します(法話)

皆様、ご仏壇に毎日お参りされておりますか？ 仏壇というのは、日本独自のものだそうです。仏壇は、お寺の本尊を小さくした造りをしてあります。つまり、家の中にお寺があるということです。よく、仏教の盛んな国や、キリスト教の信者は、毎週、教会にお参りされていると聞きますが、日本では、そうしないのは、ご家庭に仏壇があるからなのです。そして、仏壇にお参りさせていただくと安心するのは、いつも、仏様が、見守ってくたさる利益であります。

先日、経営コンサルタントをされているお宅様にお参りさせて頂いた際、その方から「経営」という言葉は、「お経を営む」と書くのですよね、何か、仏教と関係する言葉なのでしょうねとお話を頂きました。私は、そのお話を聞き、今までまったく気付きませんでした。確かに、そなただと思えました。また、その方から「はたらく」という言葉は、「はたを築にする」という意味だとお聞かせ頂きました。自分だけが幸せになるのではなく、周りの方を幸せにするために、はたらくという言葉があるそうです。経営という言葉がなぜ、お経を営むと書くのでしょうか？ 私なりにいたれば、仏壇に毎日毎日、お参りしお経を称えるのは、何のためか？ それは、ご先祖に感謝するためです。同じように、毎日毎日、こつこつと、お客様に感謝をし、周りを幸せにするためにはたらく、それが、本当の経営するという仏教の教えを実践することだと思えました。亡き方は、皆様を幸せにするため、守るために、毎日お浄土よりお戻りにな



本堂で法話をする法徳寺副住職

られ、一生懸命、はたらくてくださっているのです。

しかし、現在、不幸なことに、目に見えないものを信じるのがなくなってしまうかもしれません。誰も見ていなければ、許されるという意識では、何もやってもいいんだという意識になってしまっています。皆さんが今ある幸せ、成功は、自分の力で手に入れたものと思っていまいませんか？ しかし、目に見えないものに支えられているのです。見えないご先祖を大切にしてください。そういう方の人生は、必ずや素晴らしいものになります。皆様の幸せを、仏さまは願ってくださっています。

私たちの心には、闇があります、それは、「死後どうなるか分からない心」です。

現在が暗いのは、未来が暗いからであります、皆さんも、明日、心配事があると気持ちは暗くなりますよね。どんなことがあっても、必ず、浄土へ救うという如来様の教えを生きている間にお聞きすることが出来たのは、本当に幸せな方です。いつなんどき、この世を卒業しなければならなくなっても、必ずや浄土へ救われるのです。一生、愚痴を言っ過ぎておすのも一生です、感謝の気持ちで過ごすのも一生です、皆さんは、どちらの人生を歩みますか？ 頑張りよ、私は、いつも、そばにいますよ。と仏様は、私たちを励ましてくださっています。

あるおばあちゃんが、お孫さんに、質問されました。「なぜ、毎日、仏壇にお参りしているの？」

「おばあちゃんね、仏様と会話しているんだよ。仏様からね、おばあちゃんに向かっ、がんばりなさいよ、いつも、見守っているよと励ましてくれる声が聞こえてくるんだよ、だからね、ありがたうって念仏を称えているんだよ」とお答えになったそうです。どうぞ、皆様、ご家庭にごさいます、ご仏壇を大切になさってください。(法話講師 当山、副住職 伊東英幸)

法徳寺夏休み子ども会



8月20日(水)

毎年恒例の法徳寺夏休み子ども会を開催しました。今年は、秦野戸川公園へ貸切りバスで向かいました。自然がいっぱいの公園で、川遊びをしたり、子供たちが楽しめるエリアがたくさんあります。その後、お寺に戻り、みんなで境内でスイカを食べて、本堂で読経や作法を学びました。とても上手にできていました。夕方からは中学生も参加し、ゲームをして、夕食のカレーを食べ、花火をして解散しました。夏休みの楽しい一日となりました。



HOKOKAMA

仏教壮年会 夏の研修旅行



賣光寺本堂にて



赤レンガ倉庫前にて



横浜中華街 関帝廟前にて

平成20年7月23日
法徳寺仏教壮年会、夏の研修旅行へ行ってきました。

今回のコースは、横浜桜木町 賣光寺さまに御参りさせて頂き、藤田住職の大変有難い、ご法話を聴聞させて頂きました。賣光寺さまは、ランドマークタワーが一望できる素晴らしい場所に建っています。その後、赤レンガ倉庫、横浜中華街 関帝廟をめくり、中華街で中華粥を食べました。横浜は見所が沢山あり、その後も港の見える丘公園、外人墓地、中国人墓地、根岸公園などをまわり、帰りました。お天気にも恵まれ、とても盛りだくさんの充実した旅行になりました。

法徳寺



法徳寺山門前での副住職

先日、栃木県の法得寺(ほうとくじ)へ行ってきました。

当山の開基は、このお寺に生まれた教信坊が聖徳太子像を背負い、現在の地(神奈川県厚木市)にたどり着き、念仏の道場を建てたと伝えられています。とても感慨深いものがあります。

自分の生死は、思い通りにはなりません。しかし、今、生きているということは、この世に、まだ、自分の御用があるということです。毎日、仏様に向かいお念仏を称えましょう、それも、私たちの大切な御用です。